

(4)総合評価(案)

各ルート帯の評価は、「各指標の評価点」と、アンケート調査結果に基づく「重み」を用いて「重み付き評価点」を算出し、総合的に評価します。

表-2 総合評価イメージ

| 評価項目 | 評価指標 | 比較案の順位 | | | 評価点 | | | 重み | | | 重み付き評価点 | | |
|----------|---------------------|--------------|----|----|-----|----|----|----|-----|----|---------|----|--|
| | | A案 | B案 | C案 | A案 | B案 | C案 | 重み | A案 | B案 | C案 | | |
| 求められる機能 | 観光・交流範囲が広がる道路 | | | | | | | | | | | | |
| | 定時性の高い道路 | | | | | | | | | | | | |
| 地域特性への配慮 | 渋滞しない道路 | | | | | | | | | | | | |
| | まちづくりとの整合 | | | | | | | | | | | | |
| | 生活環境への影響 | | | | | | | | | | | | |
| 社会的視点 | 史跡・文化財・神社、寺、墓地等への影響 | | | | | | | | | | | | |
| | 自然環境への影響 | 本渡干潟への影響の度合い | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 3 | 8 | 8 | 24 | 24 | |
| | 事業費・維持管理費の低減 | 事業費 | 2 | 1 | 3 | 2 | 3 | 1 | 4.5 | 9 | 14 | 5 | |
| | 早期整備・供用 | | | | | | | | | | | | |
| | 事業の効率性(費用対効果) | | | | | | | | | | | | |
| | 合計 | | | | | | | | | | | | |

各委員からは下記のとおりご意見をいただきました。

主な意見

- ・地域住民からも多くの意見があるように、「早く作ること」を優先すべきではないか。
- ・総合評価の中に「地域の景観に溶け込む道路」という項目を追加してほしい。史跡や文化財とは違う項目として配慮すべきではないか。
- ・詳細の設計の段階でも地域住民が参加する機会を作ってほしい。

各委員の意見を踏まえ、以下のように決定しました。

決定事項

- ・ルート帯を評価する際には、アンケート調査結果を配慮した重み付けを行い、総合的に評価する手法を採用することで、地域住民の意見を反映することになりました。
- ・景観については、実施設計段階で考慮することを提言書の中に明文化することになりました。
- ・総合評価の配点方法などについては、事務局で複数のシミュレーションを実施して最終的な判断を行うことになりました。

第4回検討委員会を次の要領で開催します。

日時：3月24日(水)午後1時30分から同3時30分まで
 開催場所：天草教育会館 大会議室(天草市志柿町野添3390-12)
 主催：熊本県、天草市
 内容：提言書(案)について

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

天草市・苓北町の地域住民アンケート調査は、1月5日(火)から同20日(水)まで実施しました。ご協力いただきありがとうございました。アンケート調査票は、今後、本渡道路(仮称)の事業化に向けた貴重な資料であるため、事務局で一定期間保管させて頂くことになりましたのでご了承ください。

お問い合わせ、ご意見などはこちらへ

熊本県 天草地域振興局 土木部 工務第一課 (担当：光永・村田)
 Tel : 0969-22-4640 / Fax : 0969-23-0305
 E-mail : amadokouichi@pref.kumamoto.lg.jp
 ご意見に対する個別の回答はいたしませんのでご了承ください。
 詳しい内容は、ホームページに掲載しています。
<http://www.pref.kumamoto.jp/site/amakusa-hp/list688-2830.html>

熊本天草幹線道路(本渡道路〔仮称〕)の道づくりニュース 第3号

～市民参画型の道づくりを目指して～

発行：熊本県天草地域振興局
 発行日：平成22年3月

第3回熊本天草幹線道路(本渡道路〔仮称〕)検討委員会を開催しました。

第3回検討委員会開催概要

日時：平成22年2月16日(火)
 午後1時30分から同3時30分まで
 開催場所：天草教育会館 大会議室
 出席者：13人(1人欠席)

第3回検討委員会の議事内容

アンケート調査結果
 アンケート調査を踏まえた候補ルート帯(案)について



検討内容と結果報告

1. アンケート調査結果

(1)アンケート回収結果

天草市・苓北町の地域住民アンケート調査は、1月5日(火)から同31日(日)まで、天草市役所・各支所、苓北町役場と道の駅、地域の観光施設は、1月5日(火)から2月12日(金)まで実施しました。地域住民アンケート調査では2,871部回収でき(回収率51%)、全エリア、地域別の回収目標枚数400部(統計的な精度確保に必要な数)を上回っているため、統計的に天草地域の声を代表すると見なすことができます。回答者の性別は、男性47%、女性53%と実際の人口構成(男性45%、女性55%)とおおむね一致し、年齢構成も、実際の年齢構成とおおむね一致しました。

表-1 アンケート回収状況

| 種別 | エリア | 回収枚数 | 配布枚数 | 回収率 |
|------------------------------------|------------|-------|-------|-------|
| 地域住民配布(無作為抽出) | 上島 | 732 | 1,400 | 52.3% |
| | 本渡 | 680 | 1,400 | 48.6% |
| | 牛深 | 634 | 1,400 | 45.3% |
| | 苓北・五和 | 653 | 1,400 | 46.6% |
| | 不明・他 | 172 | - | - |
| | 計 | 2,871 | 5,600 | 51.3% |
| 天草市役所・各支所、苓北町役場、道の駅、地域の観光施設、ホームページ | 天草地域の住民 | 376 | | |
| | 天草地域への来訪者等 | 166 | | |
| | 計 | 542 | | |

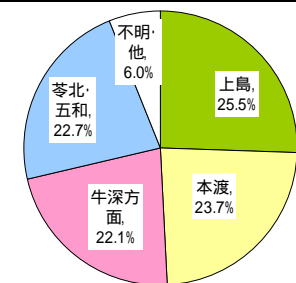


図-1 地域区分と地域別回収割合(天草市内は旧市町名)

(2) アンケート調査結果

天草瀬戸大橋の利用状況と利用して困ったこと

地区別の利用頻度の差は大きく、上島、本渡地区で多く、牛深方面、苓北・五和方面では少ない結果となっています。

「朝夕の渋滞」、「事故渋滞」、「観光シーズン渋滞」など、渋滞で困ったことがある人が多い結果となっています。

「熊本天草幹線道路」本渡道路(仮称)について

「計画状況も含めよく知っている」、「少し知っている」を合わせた割合は6割弱となっています。一方で、15%が今回初めて知ったと答えています。

『新たに上島～下島を結ぶ熊本天草幹線道路』を整備する必要があると思う回答者は、「そう思う」8割と、「ややそう思う」1割を合すると9割を上回り、本渡道路(仮称)に対する期待は大きいといえます。

本渡道路(仮称)整備における配慮項目

配慮すべき項目は、「新たな交通渋滞が発生しにくい」、「本渡道路(仮称)を早くつくる」、「天草地域のまちづくりとの整合」は、重要度も高く、優先度も高い結果となっています。

各委員の意見を踏まえ、以下のように決定しました。

決定事項

・「新たな交通渋滞が発生しにくい」、「本渡道路(仮称)を早くつくる」、「天草地域のまちづくりとの整合」の3項目については、地域住民が重要かつ優先すべき事項としているため、ルート帯の評価の際にはこれらを特に重視すること。

・アンケート調査票は、アンケート調査票配布時には「回収した調査票は適正に管理し、検討委員会終了後、速やかに廃棄処分を行います」としていましたが、今後、事業化に向けた貴重な資料であるため、事務局で一定期間保管すること。

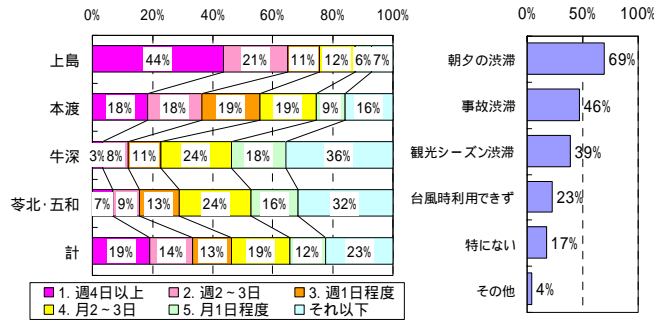


図-2 天草瀬戸大橋の利用頻度

図-3 利用して困ったこと

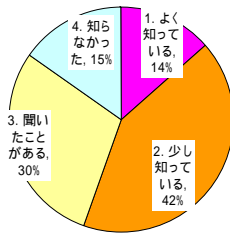


図-4 本渡道路(仮称)の認知状況

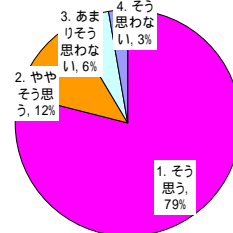


図-5 本渡道路(仮称)の必要性

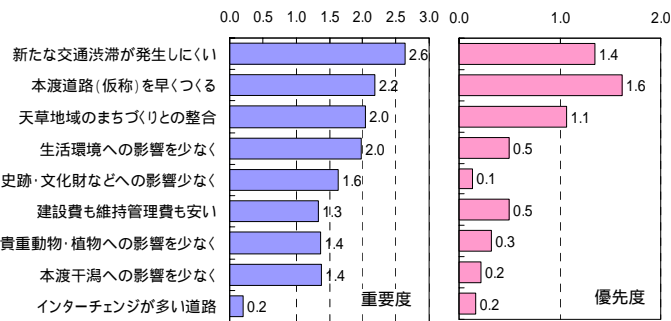


図-6 本渡道路(仮称)整備における重要度と優先度の評価

2. アンケート調査を踏まえた候補ルート帯(案)について

アンケートでは、配慮項目の追加に対する意見が特になかったため、第2回検討委員会で設定した配慮項目に基づくルート帯の評価方法を示し、検討していただきました。

(1) ルート帯の評価の流れ(案)

ルート帯の評価は以下の手順で実施することを示し、検討していただきました。

| 評価項目の設定 | 設定した評価項目 | | | | | | |
|--|---|---------|---|----------|--|-------|--|
| 評価項目は、検討委員会で設定した配慮項目と整合が図れるものとして設定します。 | <table border="1"> <tr> <td>求められる機能</td> <td> 走行速度が速い(時間短縮できる)道路 観光・交流範囲が広がる道路 緊急時における信頼性の高い道路 定時性の高い道路 渋滞しない道路 </td> </tr> <tr> <td>地域特性への配慮</td> <td> まちづくりとの整合 生活環境への影響 史跡・文化財、神社、寺、墓地等への影響 自然環境への影響 </td> </tr> <tr> <td>社会的視点</td> <td> 事業費・維持管理費の低減 早期整備・供用 事業の効率性(費用対効果) </td> </tr> </table> | 求められる機能 | 走行速度が速い(時間短縮できる)道路 観光・交流範囲が広がる道路 緊急時における信頼性の高い道路 定時性の高い道路 渋滞しない道路 | 地域特性への配慮 | まちづくりとの整合 生活環境への影響 史跡・文化財、神社、寺、墓地等への影響 自然環境への影響 | 社会的視点 | 事業費・維持管理費の低減 早期整備・供用 事業の効率性(費用対効果) |
| 求められる機能 | 走行速度が速い(時間短縮できる)道路 観光・交流範囲が広がる道路 緊急時における信頼性の高い道路 定時性の高い道路 渋滞しない道路 | | | | | | |
| 地域特性への配慮 | まちづくりとの整合 生活環境への影響 史跡・文化財、神社、寺、墓地等への影響 自然環境への影響 | | | | | | |
| 社会的視点 | 事業費・維持管理費の低減 早期整備・供用 事業の効率性(費用対効果) | | | | | | |

評価指標の設定と評価点の設定

各ルート帯を評価する際には、できる限り定量的に評価できる指標を設定します。各指標の値に対して、各ルート帯間で順位付けを行い、評価点を設定します。



候補ルート帯(案)

【評価指標】事業費の場合

| Aルート帯 | Bルート帯 | Cルート帯 |
|--------|--------|--------|
| 約310億円 | 約260億円 | 約320億円 |

【順位】

| Aルート帯 | Bルート帯 | Cルート帯 |
|-------|-------|-------|
| 2位 | 1位 | 3位 |

事業費が安価なほど上位に評価します

【評価点】

| Aルート帯 | Bルート帯 | Cルート帯 |
|-------|-------|-------|
| 2点 | 3点 | 1点 |

順位が1位を3点、2位を2点、3位を1点とします

評価点設定の流れ(例)

評価項目の重みの設定と総合評価

各ルート帯を評価する際には、アンケート調査結果を踏まえた配点とするため、各指標に対する評価点に重みをつけて評価を行います。

重み付き評価点の算出方法

$$\text{【重み付き評価点】} = \text{【評価点】} \times \text{【重み】}$$

「重み」は、図-6に示す「重要度」と「優先度」を考慮して設定します。例えば、「インターチェンジが多い道路」よりも「新たな交通渋滞が発生しにくい」の方が「重要度」や「優先度」が高いため、重視して評価します。

比較案の評価